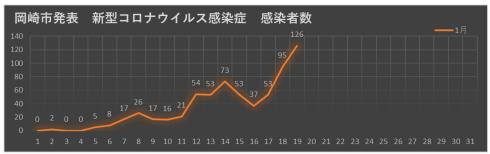


つねなる いわ season II 令和 4年 | 月2 | 日(金) その4

◇ データで見る「岡崎市の新型コロナウイルス感染症」

					ノロ	
П			ルス感染			
日 7月4日	月 5	<u>火</u>	水 7	木 8	金 9	上 10
3	1	2	1	0	0	2
11	12	13	14	15	16	17
0	19	20	21	1 22	23	24
4	1	5	7	3	1	9
25	26	27	28	29	30	31
3	5	12	5	14	6	8
E.	Ħ	火	水	木	金	土
8月1日	5	18	15	26	24	⁷ 24
8	9	10	11	12	13	14
22	20	27	33	25	25	20
15	16	17	18	19	20	21
12	26	77	70	102	95	106
60	²³	96	25 106	26 119	105	109
□	月	火.	7k	木	金	土
29	30	31	9月1日	2	3	4
48	65	99	120	86	68	72
5 35	6	7 56	52	35	32	28
12	46 13	14	15	16	3 ∠ 17	18
14	13	22	15	20	12	7
19	20	21	22	23	24	25
6	5	9	9	11	10	10
日 26	月 27	火 28	水 29	木 30	金 10月1日	土 2
1	3	8	6	5	4	3
33	4	5	6	7	8	9
6	0	2	0	0	1	2
10	11	12	13	14	15	16
17	2	19	20	21	22	23
0	0	1	0	0	0	1
24	25	26	27	28	29	30
0	2	2	0	0	0	0
<u>2</u>	月 11月1日	火	水	木	金 5	生
0	0	0	0	0	0	0
7	8	9	10	11	12	13
0	0	0	0	0	0	0
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
0	0	1	1	0	0	0
日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	12月1日	2	3	4
5	6	7	0	9	10	0
0	0	0	0	0	0	1
12	13	14	15	16	17	18
0	1	2	1	1	0	0
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	O 2022/01/11
0	0	0	0	2	1	0
2	3	4	5	6	7	8
2	0	0	5	8	17	26
9	10	11	12	13	14	15
17	16 17	21	54	53	73	53
37	53	¹⁸ 95	19 126	20	21	22
- 0 1	-00	-90				

19日、岡崎市が発表する「新型コロナウイルス感染症感染者数」は 126 名と、これまでの最高値を更新した。 非常に心配である。



感染者数の報道については、数値の推移が分かりやすい 上記の折れ線グラフや棒グラフが使われることが多いが、 左表のような一覧にすると、別の角度で実態が読み取れる。

それまでの最高値であったのが 9 月 1 日(**黒**□)の 120 人。2 週前は 77 名で、さらに 2 週前は 5 名、4 名と、ピークに達するまでに 6 週間を要している。

対して今回は、19日(緑□)の2週前は0名であり、様々な形で報道されているように、如何に今回のオミクロン株の感染力が強力であるかが読み取れる。

最近注目しているものに、市発表の「新型コロナウイルス感染症 週報」がある。

この週報は、一週間のデータを表に落とし、前データと 比較することで現況をつか みやすくしたものだ。

残念なのは、複数の表を比較するには、ウインドウを閉じなければならない点である。

1月第1週(12月	月27日~1月2日)
新規感染者数	0.7人(先逝比 +0.7人
新規感染者数 (70歳以上)	0. 0人 (先進比 ±0.0人
入院者数	1.0人(先逝 -1.2人
重症者数	0. 0人 (先逝比 ±0.0人
感染経路	※人数は過去7日間の1日平均

そこで、1月3週分(先週分まで)の3表を並べてみた。



1月第2週	1月3日	~1月9日)
新規感染者数	10.	4人(施計 +9.7人
新規感染者数 (70章以	E) 0.	1人(施路 +0.1人
入院者数	7.	5人(先祖比 +6.5人
重症者数	0.	○人 (先進比 ±0.0A)
感染経路	※人数:	#過去7日間の1日平均
濃厚接触者 (市外) 16 人	濃厚接触者 (市内) 20 人	感染経路不明 (調査中含む) 37 人

1月第1週(12	月 27 日	3~1月2日)
新規感染者数	0.	7人 (先武 +0.7人
新規感染者数 (70歳以上)	0.	○人 (先進比 ±0.0人
入院者数	1.	0人 (先進比 -1.2人
重症者数	0.	○人 (先週比 ±0.0人
Harri S. Sharishe had	※人数は 接触者 市内)	製造 7日間の1日平均 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

急激に増加する**赤**□の新規感染者数平均値。増加率は倍々ゲームどころではない。 さらに、人数値はあくまでも平均値であることから、実質の感染者数は、おおよそ 7 倍。3 つの感染経路の合計で、左から順に「309」←「73」←「5」となる。

ここで注目したいのは、<mark>【感染経路】</mark>。中でも紫□の感染経路不明者数で、いわゆる市中感染者数だ。第3週は201人と、実に全体(309人)の2/3を占める。



19日以前の感染者数 MAX の 9月 1日を含む週の 週報が左表。

合計の感染者数は 543 人と多いものの、感染者の過半数が濃厚接触者であり、ここが前回のピークと異なる点だ。しかも、今週の週報では、さらに感染者数・感染経路不明数とも上回ってくることが推察される。

オミクロン株の感染者が無症状で、PCR 検査を経て初めて陽性と気付く場合も 多いと聞く。これが市中感染促進させ、感染者を急増させる要因となっているので あろう。

また、感染者数が増えるとともに感染者の入院率が低下しており、これは自宅療養者・自宅待機者の増加を意味している。

加えて心配なことは、現在報告されている小中学生の感染者のうちの多くを占めるのが小学生であること。この差はワクチン接種率の差であることは明確である。

やってきたことを継続していくことに加え、よりアンテナを高くすると心に誓う。